

東京清掃労働組合

一組総支部
事務局
一組本庁支部内
fax6238-0504
tel6238-0502
e-mail
seisou-ichkumi
@w7.dion.ne.jp

執行委員長
細貝秀夫
教宣部長
奈良有記

一組総支部通信

執行部新役員を選出!

第5回

一組総支部定期大会を開催



新執行部

規約改正、運動方針を決定し、諸要求を貫徹する方針を了承



一組総支部副委員長

2010年、2月19日、午後15時15分より、第5回の一組総支部定期大会が本部S Kホールにて開催された。

開会宣言が藤川副委員長からあり、大会議長団に、本庁の松村議長、杉並工の岸野議長に、資格審査、採決役員に千歳工の山崎委員、大会運営役員に、江戸川工の田中委員がそれぞれ選出された。

挨拶では、岡沢委員長が、この一年間の闘いの中で、アウトソーシング反対闘争、賃金確定闘争や、署名行動など、様々な取組の行動を紹介し、回数を重ねた交渉や行動の成果として、23年度からは、一組総支部として念願の設備管理職員の採用が開始されることなど、さらなる団結で一組総支部に結集して闘いを展開していくことを訴えた。

来賓の挨拶では、東京清掃本部の西川委員長が、一組総支部のこれまでの闘いと行動を紹介し、今後の取り組みについて言及しながら、新しい役員配置でさらに前進していただきたい。設備管理職の新規採用についても、闘いの成果であり、着実に総支部組合員の団結で、がんばろうと激励した。

次に、野呂大田区議会議員から、連日、関心のある廃プラ問題等を主として述べられ、続いて、



松村、岸野議長

中村江東区議会議員、セレモアつくばの増田課長、労働金庫市ヶ谷支店の本石氏より挨拶を受けた。

次に、大会代議員数について、小久保組織部長より説明の後、山崎資格審査委員が報告、大会の成立が確認され、田中大会運営委員より、今大会スケジュールが提起され了承された。

岩田書記長の経過報告があり、質疑応答で数件あり説明の後、承認。会計監査では、品川工の塩田会計監査員が報告、会計決算を江東工の内山会計が報告し了承された。

議事に入り、一号議案の運動方針提案に箱田副委員長、2号議案として、会計予算の提案に内山会計、3号議案の一組総支部規約改定案に、江戸川工の中里書記長から提案を受け、質疑応答の後、承認された。今回の大会は、役員改選期であり、品川工の駒井選挙運営委員より報告を受け、承認された。大会決議を、板橋工の小林執行委員より



本部西川委員長

一組総支部の取り組み

読み上げられ、次に、大会スローガンを多摩川工の西村執行委員より読み上げて承認された。次に議長団解任があり、新旧役員紹介。新執行部を代表し、大田工の細貝新委員長の団結カンパニーで決意を固めて終了した。

9月5日、品川工場で発生した派遣労働者の死亡重大事故は、我々清掃工場で働く労働者の生命にまで関わる安全問題として私たちに突きつけられた。公共事業の委託が、サービスの低下と劣悪な労働条件を生むことは、様々な所で機会あることに指摘してきている。

私たちは、只単に委託反対の一般論を展開しているのではなく、委託職場で何が起きているのかを検証し、当局へ委託化における見直しを含めた解決策を求めてきているところである。職場によっては、まだ違法な現場での委託先との共同作業が存在しているという。このことは法律違反となるので、組合員の不利益にならないよう指導に取り組みとともに、共同作業で成り立つような現場実態を無視した委託化を進める当局の責任を追及するものである。

今まで、委託化については時代の流れのような感覚があったが、新自由主義の一時的な動向にすぎなかったように、昨年の政権交代があり、公共サービスの基本法の制定、野田市の公契約条例に見るように、委託化をめぐる状況は変わってきており、委託化反対運動とともに、

何かと便利です。

東京労働組合
中央セレモアつくば
問い合わせは
支部役員さんへ
お願いします。

各支部役員紹介

役職名	氏名	支部名	正支部委員	副支部委員
委員長	細貝秀夫	大田工場	稲葉智治	
副委員長	山下秀男	有明工場	米倉康夫	
副委員長	藤川勝己	葛飾工場	菅野裕亮	大森 章
副委員長	岸野静男	杉並工場	中川俊一	
副委員長	駒井貞雄	品川工場	山田 武	佐藤成人
書記長	中里保夫	江戸川工場	田中則充	山下秀則
書記次長	内山健司	江東工場	若濱恭司	谷中 登
会計	箱田修一	光が丘工場	山下久男	
組織部長	小久保正	中央工場	青木克則	宗形力夫
賃金部長	池田直喜	墨田工場	大島伸介	今西 悠
教宣部長	奈良有記	目黒工場	甲州清和	荒川幸司
現業部長	西村好勝	多摩川工場	橋本大介	中村英光
執行委員	青木一吉	北 工場	松尾国彦	山崎幸一
執行委員	堀口 孝	千歳工場	斉藤健治	山崎英男
執行委員	浪江義男	渋谷工場	斉藤武男	亀田貴浩
執行委員	小林喜代彦	板橋工場	佐藤 康	内山陽治
執行委員	金子隆義	世田谷工場	中村幸夫	土井陽一
執行委員	小林源吾	港 工場	木澤英樹	有波達也
執行委員	上村幸司	豊島工場	須藤真之	
執行委員	坂東喜久恵	一組本庁	松村良一	
執行委員	長谷川虎蔵	品川工場		
執行委員	加藤尚英	練馬工場		

会計監査 小野 純 中央工場
会計監査 杉浦 貢 渋谷工場

活動予定と日程

- 3月5日 一組総支部 支部委員会
- 9日 一組総支部 執行委員会
- 17日 一組総支部 常任執行委員会
- 24日 一組総支部 執行委員会
- 31日 一組総支部 常任執行委員会

主な取り組み
文化厚生生活活動の推進と開催、ゴルフ大会、5月ボウリング大会の実施、組織対策、異動問題、安全衛生課題、職員互助会、組織強化

えんとつ

清掃事業が一体のものとして展開することを求めるものであり、統一的な人事制度等の要求はその一環としてとらえている。

その上で、区収のみでなく事業系ごみを含め、現場だけの問題ではなく、清掃行政の問題として、ごみ減量資源循環型の環境を守る清掃事業をめざす運動として進めなければならぬ。

組織的な問題として、東京清掃の中では一組総支部と一組各支部は特別な関係にある。清掃一組はひとつの自治体であり、そのなかで東京清掃一組総支部は職員を組織して活動している。したがって、一組当局との全ての事項を交渉する組織は一組総支部である。しかし、組合員など組織化が必ずしも順調ではなく、今後の問題である。

えんとつは、自然の力ではなく、生きる為に必要な本能的な力である。何事でも、追いつめられると、火事場の力というものが誰かが発揮できるものであろう。

ゆえに毎日が大切なり。